

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平尾2丁目計画 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市中央区平尾2丁目73	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年4月6日
敷地面積	1,171 m <sup>2</sup>	作成者	宗信 宏隆
建築面積	658 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,572 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 71%  
③上記+②以外の 71%  
④上記+ 71%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行う事で、地球環境保全に貢献しています。</li> <li>道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。</li> </ul>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>階床遮音性能に配慮しました。また、ホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し、安全で快適な居室空間に努めました。</li> <li>内装材等にはF☆☆☆☆を採用しました。</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>段差や廊下幅などバリアフリーに配慮し、高齢者や障がい者の方にも安心して安全な建物を目指しました。</li> <li>福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準をクリアしました。</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明などの高効率設備機器を採用しました。</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋外駐車場の一部を住棟内に取込み、屋外アスファルト面を縮小するなど、ヒートアイランド現象の緩和を図りました。</li> <li>1階の約半分を駐車場として計画しました。</li> </ul>
	<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地は大通りからも見えるため、周囲の街並みに配慮した景観計画としました。</li> <li>道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮</li> </ul>
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯などの照明器具は 設置位置や高さに配慮しました。</li> <li>外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御としています。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される